



意外と知らない共通点??

小浜には、さまざまな祭礼行事がありますが、その中でも有名なものとして、下記の3つの祭りがあります。これらの祭り、実はもともと一つだったという説があるのを皆さんはご存知でしょうか。

意外と知られていない地元の祭りについて、私たち新人職員が調査しましたので、紹介していきます。

廣峰神社 祇園祭



祇園祭は、大人神輿3基と子ども神輿1基が氏子集落と御旅所などを練り歩きます。この祭礼の大きな特徴は、障子鉾や鎌鉾などの鉾類です。これらの鉾は、ほかのお祭りではあまりみられません。また、鎌鉾は神事の際に取り合いをして、鎌を得られた人は「家内安全」、「無病息災」などのご利益があると考えられています。

大漁旗で飾った漁船で神輿が船渡御される点や、祭礼で出される「がわら豆神事」の「がわら豆」などの食物もほかのお祭りにはみられず貴重なものです。

雲浜獅子



約380年前の寛永11年(1634年)、当時の小浜藩主酒井忠勝が川越から小浜に転封された際、川越から演技者を連れてきて、竹原地区に住ませたことにより伝えられたとされています。

江戸時代には、廣峰神社(千種二丁目)の祭礼や、城内の祝典など以外では、演じることが禁止されていたそうです。

この雲浜獅子という名前は、城下の地名だった「雲浜」から取って名付けられたとされています。

放生祭



現在の放生祭は、江戸時代には廣峰神社の祭礼に祇園祭の一部として八幡神社(男山)の氏子である旧小浜の人々が執り行っていたそうです。

それが明治4年(1871年)、八幡神社の氏子は、氏子ではない廣峰神社の祇園祭礼に出し物を出す必要がなくなりしました。

こうして、八幡神社の放生祭に出し物を出すようになったのが、現在の放生祭になったといわれています。

これら3つのお祭りを調べた結果、現在の廣峰神社祇園祭・お城まつりの雲浜獅子・放生祭を合わせたものが、江戸時代の祇園祭だったという説が浮かび上がってくるのです。

Do you know Traditional Event In OBAMA ?

お祭りの楽しみ方



「放生祭」で山車が小浜地区内を巡行して演し物を披露



秋の例大祭「放生祭」で八幡神社に棒振太鼓を奉納



「お城まつり」で小浜神社(城内一丁目)に雲浜獅子を奉納



「祇園祭」で神輿を大漁旗で飾った船に乗せる様子

用語解説



「船渡御」

祭礼などで行われる神事の一つで、神霊が神輿や船などで氏子集落などを巡行する渡御の一種です。

船渡御は、神体や神霊を船に乗せて川や海を渡します。広義には、その船を送迎する神事も含むとされています。一般的には、神霊の移った神輿を船に乗せて行われます。

「御旅所」

神社の祭礼で、祭神が巡行するときに、仮に神輿を鎮座しておく場所です。

「放生」

仏教の放生会が語源とされています。放生会は仏教の不殺生の思想に基づいて、捕らわれた生き物を山野や池に放ちやる儀式で、旧暦の8月15日に行われていました。

歴史

過去にしないために

小浜は文化財や民俗芸能の宝庫でありながら、あまり知られていないのが現状です。

豊かな歴史があると分かっているにもかかわらず、その魅力を見逃していませんか。

近年、伝統行事の担い手不足が問題となっています。まずは、歴史的価値を知ることが、文化財の保護や活用につながる第一歩になります。

今一度、ふるさと小浜の伝統に誇りを持ち、後継者不足に悩む伝統行事の継承を考える機会を作ってみませんか。

祭礼に関する資料を探します。古文書などの資料をお持ちの人はご一報ください。

■問い合わせ

文化課 ☎64・6034